

# 公益財団法人平野政吉美術財団

## 平成30年度事業報告

### <総括>

平成30年度の事業については、当財団の目的に沿った活動を行った。美術館の指定管理については適切に実施した。

- ・展示公開事業は、常設展の他、企画展を2回、特別展を3回、開催。特別展「ピアトリクス・ポター生誕150周年記念 ピーターラビットの世界展」、特別展「高野山金剛峯寺襖絵完成記念 千住博展—日本の美を極め、世界の美を拓く—」、特別展「歌川広重 二つの東海道五拾三次 保永堂版と丸清版」、企画展「夜と美術」、企画展「光 resonance 音—共鳴する音と光—」を開催した。
- ・教育普及事業としては、年度を通して、講演会を3回、ワークショップを3回、美術館教室を1回、トークショーを2回、作家によるギャラリートークを1回、講演・落語を1回行った。
- ・調査研究の成果は、展覧会に生かし、また寄稿や講演で発表した。
- ・美術ホール運営事業は、秋田県主催、マスコミ主催などの展覧会など比較的規模が大きい展覧会が多く開催された。また、特別展「千住博展」の会場としても美術ホールを活用し、大規模な展観を実現した。
- ・売店事業は、来館者へのサービスの一貫として、業者への委託販売とインターネットでの販売を展開した。

## I 展示公開事業

### (1) 常設展示事業

#### 常設展 平野政吉コレクションⅠ

- 1 会 期 平成30年4月7日（土）～平成30年7月8日（日）
- 2 会 場 大壁画ギャラリー
- 3 内 容 藤田嗣治の中南米や中国への旅をテーマにした作品および資料を展観した。
- 4 入場者数 12,070人

#### 常設展 平野政吉コレクションⅡ

- 1 会 期 平成30年7月14日（土）～平成30年9月17日（月・祝）
- 2 会 場 大壁画ギャラリー
- 3 内 容 藤田嗣治が描いた裸婦像と着衣の女性像を展示した。
- 4 入場者数 16,291人

常設展 平野政吉コレクションⅢ

- 1 会 期 平成30年9月22日（土）～平成31年1月7日（月）
- 2 会 場 大壁画ギャラリー
- 3 内 容 藤田嗣治の画室の絵を中心に展示し、描かれた藤田の愛蔵品も紹介した。
- 4 入場者数 28,915人

常設展 平野政吉コレクションⅣ

- 1 会 期 平成31年1月12日（土）～平成31年3月21日（木・祝）
- 2 会 場 大壁画ギャラリー
- 3 内 容 藤田嗣治の自画像を中心に、日本滞在期の作品を展示した。
- 4 入場者数 8,085人

(2) 企画展示事業

企画展 夜と美術

- 1 会 期 平成30年4月7日（土）～平成30年7月8日（日）
- 2 会 場 ギャラリー1・2
- 3 内 容 秋田県立近代美術館所蔵作品、秋田市立千秋美術館所蔵作品を中心に、夜の造形を展示した。
- 4 入場者数 12,070人

企画展 光 resonance 音 —共鳴する光と音—

- 1 会 期 平成30年11月10日（土）～平成31年1月7日（月）
- 2 会 場 ギャラリー1・2
- 3 内 容 世界的に活躍するガラス作家の小牟禮尊人と本郷仁による展覧会を開催した。
- 4 入場者数 7,590人

(3) 特別展示事業

特別展 ビアトリクス・ポター生誕150周年記念 ピーターラビットの世界展

- 1 会 期 平成30年7月14日（土）～平成30年9月17日（月・祝）
- 2 会 場 ギャラリー1・2
- 3 内 容 『ピーターラビットのおはなし』の作者・ビアトリクス・ポターの生誕150周年を記念する展覧会を開催した。
- 4 入場者数 16,291人

特別展 高野山金剛峯寺襖絵完成記念 千住博展—日本の美を極め、世界の美を拓く—

- 1 会 期 平成30年9月22日（土）～平成30年11月4日（日）
- 2 会 場 県民ギャラリー、ギャラリー1・2
- 3 内 容 世界的に活躍する日本画家・千住博による展覧会を、秋田市立千秋美術館と秋田県立美術館の2館合同で開催した。
- 4 入場者数 21,325人

特別展 歌川広重 二つの東海道五拾三次 保永堂版と丸清版

- 1 会 期 平成31年1月12日（土）～平成31年3月21日（木・祝）
- 2 会 場 ギャラリー1・2
- 3 内 容 歌川広重の代表作である東海道五拾三次の、1834年に出版され好評を博した「保永堂版」と、その15年後に出版された「丸清版」を展観した。
- 4 入場者数 8,085人

※同時開催の展覧会の入場者数は、各々表記した。

## II 教育普及事業

### (1) 講演会等

#### 特別展「ビアトリクス・ポター生誕150周年記念 ピーターラビットの世界展」関連講演会

- 1 演 題 「ピーターラビットの生みの親 ビアトリクス・ポターの魅力」
- 2 実施日 平成30年9月9日（日）
- 3 会 場 レクチャールーム
- 4 講 師 河野芳英氏（ピーターラビット展監修者、大東文化大学教授）
- 5 内 容 河野氏が、ビアトリクス・ポターの人物像、作者の思いなどについて講演した。
- 6 参加者数 38人

#### 特別展「高野山金剛峯寺襖絵完成記念 千住博展—日本の美を極め、世界の美を拓く—」関連講演会

- 1 演 題 「千住博氏 スペシャルトーク」
- 2 実施日 平成30年9月22日（土）
- 3 会 場 カレッジプラザ講堂
- 4 講 師 千住博氏（日本画家）、添田隆昭（金剛峯寺執行長・高野山真言宗宗務総長）
- 5 内 容 高野山開創1200年を記念して制作された襖絵について、対談を行った。
- 6 参加者数 200人

#### 講演会

- 1 演 題 「1930年代の国際映画—原節子と仙北歌踊団—」
- 2 実施日 平成30年12月9日（日）
- 3 会 場 レクチャールーム
- 4 講 師 学芸員
- 5 内 容 海外への輸出を目的に製作された国際映画、「現代日本」と「新しき土」を1930年代の時代状況を踏まえ、解説した。
- 6 参加者数 27人

### (2) トークショー

#### 特別展「ビアトリクス・ポター生誕150周年記念 ピーターラビットの世界展」関連イベント

- 1 事業名 トークショー「ピーターラビットをめぐるティーパーティー」
- 2 実施日 平成30年8月26日（日）
- 3 会 場 ミュージアム・ラウンジ
- 4 講 師 田丸美穂氏（秋田県子ども読書支援センター子ども読書アドバイザー）
- 5 内 容 ビアトリクス・ポターにまつわるお話をしていただいた。

6 参加者数 23人

#### 専門的美術講座

- 1 講座名 トークショー「人は人形をなぜつくる」
- 2 実施日 平成30年11月18日（日）
- 3 会場 ミュージアム・ラウンジ
- 4 講師 荒木博志氏（現代アーティスト）
- 5 内容 荒木氏は、機械仕掛けの人形の構造を紹介。手の記憶が作品を象ることや、創作に関する自らの考えを披露した。
- 6 参加者数 27人

#### (3) ワークショップ・美術館教室

##### ワークショップ「闇夜の音を描く」

- 1 実施日 平成30年6月10日（日）
- 2 会場 レクチャールーム
- 3 講師 浅野壽里氏（美術家・ART&ENGLISH “森のおと”主宰）
- 4 内容 オイルパステルとアクリルガッシュを重ねた台紙に、鋭利な金属でモチーフを描き出した。
- 5 参加者数 10人

##### ワークショップ「フェルトのうさぎをつくろう」

- 1 実施日 平成30年7月29日（日）
- 2 会場 レクチャールーム
- 3 講師 学芸員・教育普及員
- 4 内容 羊毛をニードルでつつきフェルトにしながらかうさぎのブローチを製作した。
- 5 参加者数 20人

##### 美術館教室「オカリナコンサート～藤田嗣治の旅を奏でる～」

- 1 実施日 平成30年10月7日（日）
- 2 会場 ミュージアム・ラウンジ
- 3 講師 学芸員
- 4 奏者 伊藤可奈子氏（オカリナ奏者）
- 5 内容 藤田嗣治が中南米や日本で描いた作品を学芸員が解説。その後、「藤田嗣治の旅」をテーマに伊藤可奈子氏がシャンソンやタンゴ、秋田民謡などを演奏した。
- 6 参加者数 46人

##### ワークショップ「とび出すカードをつくろう」

- 1 実施日 平成31年2月2日（土）、3日（日）
- 2 会場 にぎわい交流館 AU1階
- 3 講師 学芸員・教育普及員
- 4 内容 なかいちウインターパーク「童っこの雪まつり」において、ワークショップを開催した。
- 5 参加者数 128人

#### (4) イベント

#### 特別展「歌川広重 二つの東海道五拾三次 保永堂版と丸清版」関連イベント

- 1 事業名 講演・落語「東海道の旅と落語」
- 2 実施日 平成31年2月24日（日）
- 3 会場 県民ギャラリー
- 4 講師 桂歌助氏（落語家）
- 5 内容 落語家の真打・桂歌助氏に講演、落語を披露していただいた。落語の演目は、保土ヶ谷宿が舞台の「竹の水仙」。参加者は、落語の醍醐味を堪能した。
- 6 参加者数 71人

#### (5) 作家によるギャラリートーク

#### 美術館教室「作家によるギャラリートーク」

- 1 実施日 平成30年11月10日（土）
- 2 会場 3階ギャラリー
- 3 講師 本郷仁氏（富山ガラス造形研究所主任教授）  
小牟禮尊人氏（秋田公立美術大学教授）
- 4 内容 出品作家である本郷氏と小牟禮氏が、表現に対する考えや制作時の話などを解説した。
- 5 参加者数 36人

#### (6) 学芸員によるギャラリートーク

#### 企画展「夜と美術」ギャラリートーク

- 1 実施日 平成30年4月21日（土）、6月16日（土）
- 2 会場 3階ギャラリー
- 3 講師 学芸員
- 4 参加者数 12人

#### 企画展「夜と美術」ギャラリートーク

- 1 実施日 平成30年5月19日（土）
- 2 会場 3階ギャラリー
- 3 講師 鈴木京氏（秋田県立近代美術館学芸主事）
- 4 参加者数 15人

#### 特別展「ピアトリクス・ポター生誕150周年記念 ピーターラビットの世界展」ギャラリートーク

- 1 実施日 平成30年7月21日（土）、8月5日（日）、8月18日（土）、  
9月15日（土）
- 2 会場 3階ギャラリー
- 3 講師 学芸員
- 4 参加者数 66人

#### 特別展「高野山金剛峯寺襖絵完成記念 千住博展「日本の美を極め、世界の美を拓く」」ギャラリートーク

- 1 実施日 平成30年9月29日（土）、10月13日（土）
- 2 会場 県民ギャラリー、3階ギャラリー
- 3 講師 学芸員
- 4 参加者数 159人

#### 企画展「光 resonance 音 -共鳴する光と音-」ギャラリートーク

- 1 実施日 平成30年11月24日(土)・12月22日(土)
- 2 会場 3階ギャラリー
- 3 講師 学芸員
- 4 参加者数 28人

特別展「歌川広重 二つの東海道五拾三次 保永堂版と丸清版」ギャラリートーク

- 1 実施日 平成31年1月19日(土)、2月16日(土)、3月16日(土)
- 2 会場 3階ギャラリー
- 3 講師 学芸員
- 4 参加者数 97人

常設展関連 定例ギャラリートーク《秋田の行事》を読み解く

- 1 実施日 毎月第1土曜日・8月3日・4日・5日・6日
- 2 会場 大壁画ギャラリー
- 3 講師 学芸員・教育普及員
- 4 参加者数 148人

### Ⅲ 調査研究事業

#### 1. 展覧会図録

##### コラム

- ・原田久美子 藤田嗣治が監督した映画「現代日本」『没後50年 藤田嗣治展』図録、平成30年7月、朝日新聞社、NHK等

#### 2. 雑誌寄稿

##### トピック・コラム

- ・原田久美子 「妻とみ秘蔵の風景画」、「日本再発見～残存する伝統と営みを描く～」、「まぼろしの美術館－鎮魂と郷愁、そして憧れ」、『別冊太陽 藤田嗣治』271号、平成31年2月、平凡社
- ・佐々木佳苗 「旅の痕跡－中南米での収集品」、「猫の領分～動物たちが担ったもの～」、『別冊太陽 藤田嗣治』271号、平成31年2月、平凡社

#### 3. 新聞寄稿

##### 展覧会紹介

- ・小泉俊貴 「英国の美しい自然を守る－ピーターラビットの生みの親・ポターの生涯」 『秋田魁新報社』、平成30年8月17日
- ・原田久美子 「風景と事物に潜む時間－東京・上野で「没後50年 藤田嗣治展」を観る」 『秋田魁新報』、平成30年8月29日

##### 作品解説

- ・佐々木佳苗 「鏗木清方《秋の夜》、笠原幸生《舞い降りる月》－企画展「夜と美術」出品作品」 『秋田魁新報』 ギャラリートーク、平成30年6月6日
- ・小泉俊貴 「小牟禮尊人《ガラスのこだま》、本郷仁《外のうちと、内のそと》－企画展「光 resonance 音－共鳴する光と音－」出品作品」 『秋田魁新報』 ギャラリートーク、平成30年12月5日
- ・佐々木佳苗 「『東海道五拾三次』保永堂版「日本橋 朝之景」、丸清版「日本橋－特別展「歌川広重 二つの東海道五拾三次 保永堂版と丸清版」出品作品」 『秋田魁新報』 ギャラリ

ートーク、平成31年2月13日

#### 4. 講演

- ・原田久美子「藤田嗣治の壁画と美術館の眺望が響き合う」、第16回癒しの環境研究会全国大会、平成30年10月6日

### IV 美術ホール運営事業（貸しホール事業）

#### 1. 事業内容

- ① 県民ギャラリーの使用者に対しては展示構成を確認し、展示作業の補助および作業監視を行った。
- ② 個人の作品展示を行うシェアギャラリーを財団主催で行った。
- ③ 美術ホールと展示室を併せて使用する大型の特別展事業を行った。
  - ・特別展「千住博展」では3階展示室と美術ホール、秋田市立千秋美術館の3会場での大規模な展覧を実現した。
  - ・児童・生徒の美術館について理解を促すため、セカンドスクール利用の一環として、美術ホールの催し物と展示室の企画展や特別展をあわせて鑑賞する機会を設けた。

#### 2. 実績

総入場者数 53,543人

- ・宝塚歌劇展 主催：ABS秋田放送、平成30年4月7日（土）～6月3日（日）  
入場者数：5,242人
- ・あきたの造形教育・美術展 主催：秋田県造形教育研究会、  
平成30年7月27日（木）～7月31日（火）  
入場者数：1,103人
- ・個展のつどい シェアギャラリー 主催：公益財団法人平野政吉美術財団  
平成30年7月15日（日）～7月22日（日）、入場者数：1,039人
- ・第4回あきたアート はだしのこころ 主催：秋田市  
平成30年12月15日（土）～12月22日（土）、入場者数：2,003人
- ・秋田公立美術大学 卒業・修了研究作品展2019「カモステイク」  
主催：秋田公立美術大学 平成31年2月15日（金）～2月20日（水）  
入場者数：1,963人

### V 売店事業

#### 1. 事業内容

- ・インターネットでの《秋田の行事》額絵、トートバッグの販売。
- ・秋田県立美術館ミュージアムショップ運営業者・光風舎へ委託販売。

#### 2. 実績

- ・売り上げ総計 23品 3,293枚

内訳

《秋田の行事》レプリカ 810枚

《秋田の行事》額絵	56枚
クリアーファイル	338枚
絵はがき17種	2,003枚
その他	2枚
トートバッグ3種類（白、水、紺）	84枚

※事業の詳細は、付属明細書および教育普及事業のレジユメのとおり